

2024 年度 国税専門官 A 本試験（専門試験 [多肢選択式]） 講評 その②

No.	科目	出題内容	正解	正答率*	講評
41	政治学・ 社会学・ 社会事情	政治思想	1	A	<p>【政治学・社会学・社会事情】 No41「政治思想」は、たとえば、肢2の「H. アレントは、人間の営みを「労働」「余暇」「活動」の三つに分けるとともに」、肢3の「J. ローレンスは・・・福祉国家的な再分配を批判した。」に代表されるように、非常に平易な内容である。確実に正答しなければならない問題である。No42「政治体制・制度」は、正解肢4のA. レイプハルトの内容がやや難解であるが、肢5のS. リプセットを除けば、その他の選択肢の内容は基本的であるので、何とか正答したいところである。No43「選挙制度」も、No41と同様に基本的な内容である。3問中2問は確実に正答したい。No44はN. ルーマンの理論を説明した文の穴を埋める形式であるが、AとCがわかれば、Bがわからなくても正解できるものである。No45も間違いの肢であるアとイはともに人名と概念の組み合わせがわかれば解けるレベルである。したがって、全2問とも易問であり、すべて正解できていなければならない。</p> <p>社会事情：例年通り1問出題された。我が国の労働等に関する動向について、幅広く基本的な知識を問うものである。いずれの選択肢も、社会科学、時事などの別の科目の知識でも正誤を見分けられる平易な問題であるので、是非正解しておきたい。</p> <p>【英語】 受験生全体の1割程度が英語を選択したと推計される。内容把握2題、文章整序2題、空欄補充2題（単語補充）の構成で、昨年から変更はなかった。文章量が多くやりにくさを感じる一方で、丁寧に問題を解けば正解は見つけやすいという問題が多かった。昨年と比較すると全体的にやや難易度が下がっている。ただし、No. 52の空欄補充問題は他の問題と比較して難易度が高い問題だった。</p> <p>【商業英語】 商業英語も、英語同様受験生全体の1割程度が選択したと推計される。どの問題も文章量が少なく、内容把握も出題されなかったが、例年通り全体的に難易度が高い。すべての問題で一貫して、ビジネス英語の単語や言い回しを知っているかどうか問われた。</p>
42		政治体制・制度	4	B	
43		選挙制度	2	A	
44		N. ルーマンの理論	2	B	
45		組織や社会	5	A	
46		我が国の労働	2	B	
47	英語	内容把握	3	B	
48		内容把握	5	B	
49		文章整序	2	B	
50		文章整序	4	A	
51		空欄補充	1	B	
52		空欄補充	4	B	
53	商業英語	空欄補充	1	B	
54		空欄補充	5	B	
55		空欄補充	4	A	
56		文章整序	2	A	
57		空欄補充	4	A	
58		空欄補充	2	A	

※ 正答率（A：60%以上、B：40%以上60%未満、C：40%未満）は、LEC公務員試験 受験生応援企画『本試験無料成績診断』のデータ（5/31時点）に基づいて算出しています。本成績診断のご利用方法等の詳細は、LEC公務員Webサイトの専用ページ（<https://www.lec-jp.com/koumuin/juken/seiseki/>）にてご案内しています。



KL23777